

般 問

空き家対策、歩行者等の安全確保対策について問う



やまだ たかひろ
山田 貴大 議員

答

ともに改善改革を進めている



問

本町における空き家の数と増減傾向はどうか。

産業振興課長

直近で令和6年12月末現在における空き家は、205戸（大溝110戸、木佐木61戸、大莞34戸）と推計しており、令和4年度末から20戸減少している。

また、空き家になる恐れが高い「高齢者の一人世帯」が今後さらに増えていくことを考えれば、空き家は将来加速度的に増加していくことは避けられないものと考えている。

問

他の自治体では空き家の解体費用・

改修費用に対する助成金・補助金制度、移住者への制度が導入されているが、本町ではどのような支援制度が整備されているのか。

産業振興課長

老朽空き家の除去に係る工事費用について、工事

費用の半で最大50万円を助成している。移住者のみの支援制度ではないが、住まいの質を向上させることなどを目的に、住宅改修

にかかる費用の支援のほか、太陽光発電設備、蓄電池設備などの再エネ関連、浄化槽設置の助成を行っている。また、子ども家庭支援センターを中心とした育児相談や子育て支援、新規就農者育成のための支援などを実施している。

問

移住者向けの空き家活用に関する成功事例を本町でも取り入れる検討はされているのか。

産業振興課長

全国的に空き家を改修し、カフェや宿泊、お試し移住などにリノベーションした成功事例は様々あるが、まずは、物件の価値を正確に把握することが重要だと考えており、しつかりとした体制を整え、時間をかけて行う必要がある。

グリーンベルト設置について問う

建設水道課長

独自で検証は行っていないが、一般的に通学路の交通安全向上を目的とした重要な施策の一つと考えている。

問

ハイスペック白線を導入することで、夜間や悪天候時の視認性が向上し、歩行者と自転車の安全が強化されると思うが、今後の設置予定・費用はどうか。

建設水道課長

今年度、上木佐木地区でグリーンベルトの塗り替えを行う際に、試験的に凹凸のあるハイスペック白線に塗り替えている。リップ上を車輛が通行する際に生じる振動により運転者に対する注意喚起の効果があるが、通常の白線の2倍の設置費用がかかる。

問

ハイスペック白線の今後の導入予定について、優先的に取り組むべき施策があるのか。

建設水道課長

上木佐木地区に設置されているハイスペック白線の導入効果を車輛の交通状況や振動による騒音を継続的に観察し、費用対効果を含めて今後の導入検討にかかしていく考えである。



給食センター交差点 西側方面

地元企業優先発注の仕組みが必要では

答

入札制度の運用、改革について 入札委員会で検討していく



ますだ とみひろ
益田 富啓 議員



問

昨年、総務省から「中小企業、小規模事業者が地域経済や雇用の重要な担い手になっていくことを踏まえ、入札での適切な地域要件の設定や、地域精進度を適切に評価して、中小企業、小規模事業者の受注機会の増大を図ること」とした自治体向け文書が発出されている。町はどう対応しているのか？

総務課長

町では、少額な簡易工事に小規模工事参加者登録制度を導入、また、金額に応じた地域要件の設定や、ランク付の緩和措置などを行っている。入札制度の運用、改革については入札委員会で検討している。

問

中小企業を取り巻く状況は厳しさを増しており、本町経済の振興と地元企業の育成、まちづくりや災害時の対応などを考慮すると、一定の競争が確保されて品質が低下しないことが前提にはなるが、更なる地元企業への優先発注の仕組みが

問

必要ではないか。10年前と比べて、建設物価指数は1.3倍から14倍になっており、予定価格に応じた地域要件の基準を見直すべき。また、小規模工事参加者登録制度については、提出書類の簡素化が求められる。更に、災害協定を締結している町内業者を高く評価する仕組みが必要ではないか？

総務課長

町内業者の受注機会の拡大及び受注率の向上に向け、入札委員会で今後検討していきたい。

問

地元企業優先発注の方針を定めて、町の姿勢をアピールした方がいいのでは？

町長

商工会とも意見交換をする機会があるので、十分に研究しながら進めていく。

問

変動型最低制限価格制度については、試行的な導入となっているが、検証は行われているか？

総務課長

詳細な検証までには至っていない。直近の3年間は、ほとんどが5社未満で、同制度における応札参加業者数が大きな課題であるが、これまでの実績・結果より不良不適合業者の排除や、公正な入札を確保するという面からは一定の効果があつたと考えており、当面、同制度は継続していく。

問

工契連モデルで算出した最低制限価格の平均値を下回った落札率での工事は適正価格と言えるのか。5社未満がほとんどで、変動型が機能していないのでは？

総務課長

応札企業5社未満が続いていることについては大きな課題だと認識しているため、より良い制度の構築に努めていく。

公共施設への自販機設置は必要か。



図書情報センターには給水機が設置されています

問

庁舎や子育て交流センターに自販機が設置された。環境自治体の象徴的な取り組みでもある自販機撤去方針を転換したのか？

総務課長

今回は、災害時の住民要望や来庁者等の利便性、社会貢献的な活動への支援、寄付目的等を考慮して設置した。今後、他の公共施設への設置を推進していく考えはない。

意見

本町が環境自治体を目指すのであれば、自販機設置よりもマイボトルの普及、そして給水スポット（給水機）の設置拡大がふさわしいのではないかと。

般 問

後期高齢者の医療機関への 通院支援に関連し「おおき乗合 タクシー事業」等を問う



ふかまちとしお
深町 敏生 議員



答

試験運行を踏まえ、利便性の高いものとなるように努める

令和7年度新規事業

福祉課関係

事業名…福祉有償運送事業

事業目的…病院への通院移動手段がなくて

お困りの方を自宅から町内医療機関までの送迎を行う

対象者…①75歳以上の高齢者のみの世帯、

②運転免許を持たない方、③介護保険の要支援者等で通院・介助が必要な方等
利用料金…年会費（保険料実費相当額）

企画財政課関係

事業名…おおき乗合タクシー事業

事業目的…自らの移動手段を持たない高齢者等の移動手段の確保等町内の移動手段の充実を図る。

対象者…町から利用登録証の発行を受けた者

利用料金…1回500円／人

問

後期高齢者の乗合タクシー活用時、料金の減額等の配慮ができないか。

企画財政課長

町内唯一のタクシー事業者が廃業したことによる様々な不都合をなるべく解消できる様、そして生活する上でどうしても必要な「移動手段」を確保出来ない方々へ対応できる様、加えてタクシー事業者にもできる限りの配車協力を取り付けた上で、電車やバスへの自宅からの接続、交通体系の補完機能整備の為に必要な投資として「予約型の乗合いタクシー事業」に取り組むこととした。ただし、タクシーである以上、介助が必要な方までのカバーは出来ず、移動手段がなく、何らかの介助を必要としている方々には、今回併せてスタートする福祉課の移動支援事業がケアする。特別料

金を設け利用者負担を下げることで、タクシー業者や福祉有償運送事業として受託する福祉事業者サイドの供給体制が機能し得るのか、本町の公共交通機関の維持・確保にマイナスの効果や及ぼすことはないのか、を慎重に検討していかなければならぬ。現状としてはお示ししている諸条件により両事業をスタートさせることに理解と協力をお願いしたい。

意見

後期高齢者の方が持病等で通院されている方については、利用料金の減額配慮を検討願いたい。

問

公共交通施策は、町全体を通して町民にとって利便性の高い効果的な取組みとなっているか。

意見

に代表される移動手段についての各施策と今回の2つの施策とを全部合わせて、町民にとって利便性の高い効果的な取組みとなっているか、については、現時点で「町民にとって利便性の高い効果的なもの」として、また、すでに完成されているものと評価しているわけでは決していない。今後も両施策の利用状況や利用者である町民、及び実施者であるタクシー事業者や受託者となる福祉事業者からの意見を踏まえ、1年間の試験運行による各種データを取り揃えた上で、必要となる見直しについては行い、利用者にとって、利便性の高いものとなるよう努める。

現在、運行されている巡回バスは空席もあり、必要とする人の利用を含めた有効な活用をすべきではないか。

企画財政課長

これまでの買い物支援

道の駅おおきの業務課題を問う

答

ガバナンスの強化を図っていく



なかしま 中島 宗昭 議員



問 道の駅指定管理業者の敷地内維持管理に対する批判の声を多く聞くが、業務仕様通りの管理がなされているのか。

産業振興課長

年度当初より植栽エリア、駐車場などの美観を中心に問題が散見されたことから良好な環境維持に努めるよう指導している。

問 公衆トイレの清掃回数は1日2回以上の業務となっているが朝1回きりの清掃と聞か。

産業振興課長

シルバー人材センターへ委託され、1回の清掃は確認しているが再度確認する。

問 駐車場においても空き缶、ペットボトル、たばこの吸い殻他等、ゴミの散乱が見受けられるが。

産業振興課長

駐車場の監視は随時行うこととなっている。定期的な巡回が不十分である。

と考えることから再度指導していく。

問 公園及び小動物の適正管理も十分だと思われるが。

産業振興課長

小動物に関してはレストラン、ジェラード店のご支援があり、どうにかお世話できている。

問 小動物に関しては伝染病発生時を想定し、対策のマニュアルが必要だが。

産業振興課長

マニュアルについては早急に確認する。

問 保安整備業務においても適正に行われているのか。

産業振興課長

日常的に監視を行っているものと認識している。

問 毎日の警備日誌の確認提出は求めているのか。

産業振興課長

至急確認する。

問 防火防災対策等の安全に関する適切な訓練管理は。

産業振興課長

駅長が消防計画を消防署に提出している。それに基づいて履行していくようしつかり指導していく。

問 農産物出荷者協議会運営については町の指導が必要では。

産業振興課長

出荷者協議会事務局の(株)グッドスタッフが役割を十分に果たしていないことから町も関与し会の充実強化に努める。

問 インフォメーションセンターには人が居ず、センター本来の機能役割を果たしていないが。

産業振興課長

当初より常駐職員が居ず、再三指導を行ってきた。

問 今後、さらに重要な業務運営、特に今年度は県、町、業者とBCP

策定となるが、全く管理運営業務ができていない業者で大丈夫なのか。



道の駅北側

産業振興課長
現状のガバナンスでは大変心もとないことから、早急にガバナンスの強化を図っていく。

問 この約1年の業務状況を見ると、契約不履行と見える。今後も期待できないことから指定管理の在り方、及び契約解除も考えられるが。

産業振興課長

指定管理者モニタリングと評価体制の整備を急ぐとともに外部評価を入れ、改善させるほか、指定管理の方法も考えていく。

町道等道路法面除草管理時における傷害事故等の補償についての質問も行った。詳細は二次元コードへ。

般 問

総合体育館の空調設備 を整え、スポーツの推進を 図っては



ますだ りゅういち
益田 隆一 議員

答

eスポーツで、世代間をつなぐ
機会になればと考えている



問

大木町のスポーツ
振興及び地域社会の
さらなる発展のため、総合
体育館への空調設備設置
を提案したいが検討の余
地は。

企画財政課長

総合体育館への空調設
備の整備については、実現
すれば、利用者の環境改善
のみならず、その価値を適
正に活用することで、複
数の施策分野へ好影響を
与えうるものとして考え
ており、その実現に向け、
検討したい。

問

単に体育館にエ
アコンを設置する
だけが目的ではなく、空調
設備を整備した防災拠点
として、その必要性はある
と考える。それと、八丁牟
田駅からアクアスまでの
範囲をマクロ的視点で考
え、スポーツ選手の合宿
地、新しくなった木佐木小
学校体育館はサブアリー
ナ、今後の駅周辺開発と連
動することで、全国的なス
ポーツの合宿拠点となる

可能性が高まる。以前から
提案している福銀とのテ
ナントビル内に宿泊施設、
全てがつながることにな
る。

結果的にその地域のス
ポーツの振興とともにス
ポーツ関連産業の発展を
促進すると思うが。

企画財政課長

仮に設置した際にメ
リットとして、アリーナの
被災時の長期避難所とし
ての機能が增強されるこ
とに加え、合宿拠点とし
ての活用や、大会・イベン
トの誘致による地域活性化
など期待できる。こういった
ものも併せて、総合体育館
に新たに付与された価値
を十分に活用するため
のソフト面での整備、これ



に関係部署連携の上、取り
組んでいくこととなる。ま
たその場合、ソフト面での
整備は、空調付体育館の完
成に歩調を合わせて、遅れ
ないように努めたい。

問

もう一つの提案
でeスポーツを推
進したい。ネットをつな
がっていけばeスポーツ
は世界でつながる話にな
り、会場はどこでもいい話
である。東京でする必要も
なく、福岡市内の必要もな
い。空調設備を整えば大木
町はこれだけ良い施設が
整って合宿施設としても
できる。こうした背景を踏
まえ、大木町では、スポー
ツの持つ集客力、世代間交
流の促進効果など、多様な
メリットに注目して、その
魅力を町内外に発信して
いただきたい。これによつ
て将来的には大木町の独
自のスポーツのイベント
創出。関連産業に発展につ
ながることもできればと
思うが。

地域づくり課長



eスポーツイメージ図

若い世代に人気がある
だけでなく、世界各国で大
会も開かれており、eス
ポーツを通して幅広い世
代の交流を深め、地域の活
性化につなげようと体験
会を開く市町村も少なく
ない。これから非常に可
能性のあるものだと認識し
ている。令和7年度には、
福岡県の補助事業で業者
に委託するeスポーツ体
験事業については、町の文
化祭のときに、総合体育館
内展示スペースの横で、実
施したいと考えている。e
スポーツは誰でも取り組
めるので、高齢者のフレイ
ル予防や、高齢者と中学生
との交流など、世代間をつ
なぐ手段の一つとして広
げていく機会になればと
考えている。

質

町立保育園の存在意義と果たすべき役割について問う



とくなが たくや 徳永 卓也 議員



答

町全体の調整機能を果たしていく

問

近年、共働き世帯の増加に伴い、保育ニーズは高まる一方で、少子高齢化に伴う経営者の後継者不在、保育の「2025年問題」が全国で続々と発生しており、保護者にとっては、子どもの預け先の確保が大きな課題となっている。そこで、現在町内の各保育園の定員数と入所可能枠、現時点での入所決定数はどのようになっているのか。また、その中で町立保育園の存在意義と果たすべき役割について、どのように考えているのか。

こども未来課長

これまで全国的に保育ニーズの高まりにより、待機児童対策が喫緊の課題として取り組まれていた。本町においても待機児童とならないように町内保育、町外の広域保育など入所調整により、待機児童が発生しないように努めてきた。一方、将来の保育所の利用児童数の今後の見込みを推

計した厚生労働省の資料によると、利用児童数は2025年、令和7年にピークに達することが見込まれており、2025年を境に利用児童数の減少により運営の継続が困難となる保育所が増える恐れがあるといわれている。これが保育の2025年問題である。本町の令和6年度の町内の保育所の利用定員、入所状況を見てみますと、町立に関しては定員数に対して若干の空きはあるが、私立に関しては軒並み定員オーバーになっている。また、令和7年度の3月1日現在の入所決定状況をみても令和6年度と同様な感じで推移している。また、国の支援制度の変更等により、公立保育園の自治体負担の増加により公立保育園の統合や民間移譲の動きも増えてきている。しかし、公立保育所には、保育行政の先導的役割、特別な配慮が必要な子どもへの積極的な受け入れ等、公的機関とし



て担う役割がある。従って、公立保育所は公立として大切な機能は維持するとともに、民間でできることは経営圧迫を避けるよう配慮しながら、受け入れ児童の調整機能を果たしている。

問

介護保育ユニオン 共同代表の三浦さんの記事を引用し突然閉園の事例を紹介する。福岡県嘉麻市の事例もあり、町内でも突然閉園は起きる可能性がある。そこで、そうなった場合に町立保育園で柔軟に受け入れることは可能だろうか。また入園基準や受け入れ枠の見直しも含め、町としてどのような対応が考えられるのか見解は。

町立保育園として、受け入れる部分はしっかりと受け入れる。本町は交通アクセスに優れているので地域保育も一つの受け皿。その時々でどのような形が望ましいのか判断することが大事である。

町長

町立保育園として、受け入れる部分はしっかりと受け入れる。本町は交通アクセスに優れているので地域保育も一つの受け皿。その時々でどのような形が望ましいのか判断することが大事である。

問

緊急時のセーフティネットとしての役割を果たすのも、子育て支援をアピールする町としてしっかり子どもと保護者を守るのも公立保育園の役割だと考えるが、町長の考えは。

こども未来課長 本町では民間でできる運営努力による受け入れを配慮しながら、対応していく。休園廃園等の対応は、町内保育所での対応を優先し、待機児童が発生しないよう取り組んでいく。